

江戸っ子の粋と誇りを 感じて歩く、心意気のまち 神田駅

JR 京浜東北線・中央線・山手線
東京メトロ 銀座線

徳川幕府開府前から開け、江戸から今に至るまで東京の中心的存在であり続ける神田。でも、そのビルがひしめき合う町並みを散策すれば、江戸や明治の情緒を残す風景が顔をのぞかせる。神田は、江戸っ子の息吹を感じるまちなのです。



江戸からの町名が
今も多く残る神田。
その由来を調べながら
歩くのも楽しいよ



齋藤月峯居宅跡
江戸を代表する文化人であり神田の誇り『齋藤月峯』。この地で文化元年(1804)に生まれ暮らした月峯の居宅跡に、生誕200年後の2004年に石碑が建てられました。記念碑に使われているのは江戸城外堀の石垣の石です。
*「注目の人」もご参照ください。



松本家住宅主屋
神田多町の間屋街に残る、昭和6年建築の貴重な東京下町の震災復興町家です。元青果物問屋の店舗兼住宅で、木造三階建、切妻造の平入、正面は出桁造(だしけたづくり)の構え。北妻面は窓の少ない防火に配慮した造りになっていて、狭い間口と長い奥行きという町家の特徴がよく分かります。
*現在も住まわれているため内部には入れません。



①松尾神社 ②一八稲荷神社



③佐竹稲荷神社 ④出世不動尊

ビルの狭間にたたずむ神様たち
神田明神のお膝元であるこの界隈は、建ち並ぶビルの合間に多くの神社やお不動様が見られます。戦禍を免れ、また新たに再建され、昔からの居場所に鎮座するお社は、今もまちの人々に大切に守られ、暮らしの中に生きています。



贈写版発祥の地

贈写版とはいわゆる『ガリ版』。明治27年(1894)に堀井新治郎父子が、ここ神田鍛冶町で発明しました。漢字が多い日本で独自の発達を遂げ、安くて手軽な印刷機として昭和中期までは学校や役所などの必需品でした。銅版に刻まれた絵には、明治中期頃、店の前を通っていた鉄道馬車が描かれています。



写真提供:東京都下水道局

① 神田下水 日本初の近代下水道

明治の初め日本各地でコレラが猛威を振るい、明治15年(1882)には東京の神田、京橋などでも死者約5,000人を数える程に。上下水道など衛生施設改善の必要性を痛感した政府は、オランダ人技師ヨハネス・デ・レーケ指導の下、日本人技師石黒五十二に設計を指示。明治17~18年の2年間で、延長約4kmの下水道管『神田下水』を建設しました。その歴史的価値から1994年には東京都指定史跡に。現存するのは、鍛冶町一丁目から神田多町二丁目間の614mですが、それは一世紀以上を経てもなお、現役で地域の生活を支えています。
*現在も使用中のため一般公開はされていません。



門外不出のたれが染みた肉感たっぷりの大きめで新鮮な伊達鶏と、フワッとろっの卵。絶品、星の親子丼(740円)は100食限定で売切御免。夜は3つのコースで焼き鳥を堪能できます。

② 伊勢ろく 本店

〒千代田区内神田2-12-3
☎03-5294-7120
🕒11:00~14:00、17:00~21:00
*ランチは売り切れ次第終了
*親子丼ティクアウト600円(ランチのみ)
📅土・日・祝
🌐https://e860402.gorp.jp/



鮮度抜群の銘柄鶏を堪能 焼き鳥の概念を変える味!

数ある産地から厳選した福島県産伊達鶏。その毎朝直送の“朝びき”を捌き、串打ち、炭の移り香を避けるため、あえて電熱器で焼き上げます。それは淡泊でジューシーな伊達鶏本来の味を十分に引き出すため。鶏を極めた職人技と味を堪能できる焼き鳥の銘店です。

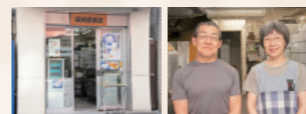
◀店長 林 徳明さん



木綿豆腐(1丁180円)、五目がんも(1枚100円)、生揚げ(1枚180円)。毎朝出来立て、美味しい豆乳(1杯110円)は、近隣の会社の人々が通勤時にコーヒ代わり買い求めていきます。

④ 篠崎豆腐店

〒千代田区内神田2-7-9
☎03-3256-6644
🕒7:00~12:30、15:00~18:00
📅土・日・祝



創業明治18年。神田でも 指折りの老舗の手作り豆腐

創業以来、旧・神田鎌倉町で130余年、豆腐ひとすじの老舗です。かつてはまちの家庭の食卓を飾り、今は界隈の多くの飲食店から重用される木綿豆腐は、大豆の甘みを感じる豊かな味わい。鮮度が命の豆腐。だからまだまちが眠る午前3時過ぎ、今日も店の明かりが灯ります。

◀五代目 篠崎 健一さん、奥様 恵美子さん



ナストマト、オクラとレンズ豆、キャベツとココナッツのトリプル(1,000円)。*野菜の旬で変わります。チャイ100円。夜は勝沼産ハウスワイン(2,500円)と、日替わりのお薦め料理をどうぞ。

③ 葡萄舎

〒千代田区鍛冶町1-3-10 MJ神田ビル5F
☎03-3254-0637
🕒11:30~13:30、18:00~23:00
*ランチは火~金のみ。売り切れ次第終了
*夜のカレーは1種+チャパティ
📅日・祝



南インドで覚えた家庭の味は 体にやさしいベジタブルカレー

若い時、ユーラシア大陸を放浪した店主が南インドで巡り逢った、家庭のカレー。それは野菜と数種のスパイスで作る、奥深く体にやさしい味でした。帰国後、神田で居酒屋を始めた時、そのカレーを再現したら大好評。以来35年、知る人ぞ知る看板メニューとなりました。

◀店主 池田 賢一さん、スタッフ中根 敬登さん



チャイ(ロイヤルミルクティー600円)は今年の人気商品。セーデルブレンド(450円)は、甘い香りと豊かな風味で北欧紅茶の代表種です。他にも多種多彩。ネット販売も行っています。

⑤ かんたデザート (株)信富舎

〒千代田区鍛冶町2-11-20
☎03-5295-3733
🕒平日12:00~20:00、土14:00~20:00
📅日・祝 🌐http://hokuokocha.co.jp/
あらぶんちよ通信持参でご来店の方に、チャイorセーデルブレンドをサービス!



スウェーデン王室愛飲の紅茶が 気軽に手軽に楽しめるお店です

北欧紅茶とは多彩な個性の茶葉と、天然のフルーツなどを絶妙なバランスでブレンドしたもの。その豊かな香りと味わいは一度口にしたら、もう虜に。しかもスウェーデン王室指定ブレンドという折り紙つき。でも気軽に楽しく、スタッフとの会話も嬉しい気さくなお店です。

◀スタッフ 谷口 大樹さん、代表取締役 森下 慎也さん

誌面で紹介したお店やスポットに
ターリーターキーの2人がおじゃまします!

あらぶんちよ散歩 [神田駅]

11月1日(月)~7日(日)
▶地デジ10ch 15:00~
▶地デジ102ch 23:00~
▶地デジ11ch 11:00~、14:00~、17:00~

▶YouTube
「あらぶんちよ!チャンネル」でも公開中!



注目の人 市井人・齋藤月峯に 学ぶ会 会長 後藤 禎久さん



神田っ子の心意気が繋ぐ町の記憶

祖父の代から大工で父親は棟梁。神田で生まれ、明神様の祭で育ったようなもの。そんな私が、仲間と神田祭と祭礼文化に関する本を出した頃です。時はバブル経済真っ盛り。神田も地上げで、町もコミュニティも破壊されてしまった。この町を再生したいと願う残った者たちと、想いを同じくした千代田区職員の小藤田さんが出会ったことから全てが始まりました。その時、彼が示してくれたのが「齋藤月峯」。江戸末期から明治初めにかけて神田の名主を務め、『江戸名所図会』や『類集撰要』など町や庶民の有様を記録を膨大に残した人です。そこから神田らしい町づくりを探ろうと仲間を集め、古文書も読んだことのない連中が「五十の手習い」を合言葉にスタートしたのが「市井人・齋藤月峯に学ぶ会」でした。活動は「まちみらい千代田」の助成で順調に進み、2年目の2004年、月峯の生誕200年を記念し居宅跡に顕彰碑を!と仲間と輪を広げ、一般からも寄付金を募るなど町の人々の力で無事建立できました。月峯の玄孫も探したし除幕してもらったんです。この熱意の源は町への愛着。神田は江戸っ子の象徴であり、私たちの財産です。町をもっと知ってもらい、孫子の代までその素晴らしさを繋いでいきたいですね。

月刊「神田画報」に連載!

『昔むかしの神田探訪』著・後藤 禎久さん
神田祭と月峯から始まり、今では明治の神田の町と人々の暮らし、出来事を当時の新聞や資料を調べ、「跡馬主水」の筆名で発表しています。
*千代田区役所ほか協賛店舗などで配布中。



「まちみらい千代田」とは?

千代田区でのまちづくりや産業振興等に関する事業を、総合的に支援・推進。区に住み、働き、集う人たちが心豊かに暮らせる、活力ある地域社会の構築発展に寄与することを目的に設立された公益財団法人です。
🌐https://www.mm-chiyoda.or.jp/

*価格はすべて税込です。
*データは取材時のものです。内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
*掲載店舗は通常マスク着用で営業していますが、撮影のため特別に外していただいています。